



- ◆進んで勉強する子ども
- ◆明るく思いやりのある子ども
- ◆健康でねばり強い子ども

【基本方針】 夢を育み、笑顔で「学校が楽しい」と充実感を味わえる学校

第1回 学校運営協議会開催

都城市では、平成25年度から全小・中学校に「都城市コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を設置し、地域とともにある学校づくりを進めています。

その設置を通して、積極的な支援体制を確立することにより、学校・家庭・地域社会が一体となって学校づくりに取り組み、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりを目指しています。

学校と地域社会それぞれに有益な、いわゆる Win-Win の関係を築きながら、学校づくりと同時に地域コミュニティの創造を推進していきます。

この設置により、次のような効果を期待しています。

- 1, 学校の積極的な支援体制（学校応援団）ができる。
- 2, 学校・家庭・地域社会が一体となって学校づくりに取り組む意識が高まる。
- 3, 学校を中心に地域が活性化し、「まちづくり」の一翼を担う学校となっていく。
- 4, 学校を取り巻く課題解決の一助となり、子どもの健全育成を支える体制ができる。

東小学校の学校運営協議会委員の方々8名です。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| ○ 瀬尾 真路 様 | ○ 中馬 圭子 様 | ○ 外村 悦子 様 | ○ 内山 強 様 |
| ○ 森岡 英史 様 | ○ 高橋 初代 様 | ○ 星原 英樹 様 | ○ 鶴崎 一 様 |

自己紹介・委嘱状交付の後、学校運営協議会の概要を説明し、校長より学校経営方針の説明をしました。4月からの子どもたちの姿をプレゼンで示しながら、東小学校の取組について説明していきました。その後、この東小学校学校運営協議会の会長を瀬尾様に出いたしました。



最後に年間計画の説明を行い、質疑応答・意見交換を行いました。【協議会での真剣な協議】
その中で、次のようなありがたい御意見が出されました。

- 3月の卒業式の時に、毎朝、交差点で見守っている方にわざわざ6年生が近寄りこう言ったそうです。「ずっと見守っていただきありがとうございます。」

別の日には、一人登校の子どもが「毎朝、いつもありがとうございます。」と声をかけてきて、大変嬉しく思った。

- 班長がしっかり挨拶する班は、他の子どもたちも挨拶をする。



【委嘱状の交付】

- 公民館活動も中止となり、交流ができない状態が続いている。しかし、先日、草刈りにPTAの方々が声かけをして集まって手伝ってくれた。夏祭りや行事にも、今後できることを工夫して取り組んでいきたい。
- 保育園・幼稚園・小学校の連携を工夫しながら考えていきたい。コロナ禍だからこそ、保幼小の情報共有といった連携が大切になってくる。

プール開き 6年生

今週（13日～17日）は全学年のプール開きです。

ただ、本格的に梅雨入りし、気温も水温も低い状態が続きました。

そのため、月曜日から計画していた学年は延期となり、15日（水）の5・6校時に初めて6年生がプールに入りました。プール掃除で磨いたプールに6年生が入れるようにしたのも、プールの中央にある水神様がきっと導いてくれたのでしょう。

6年担任の決まりやルールについての学習・代表児童発表・校長の話の後、全員で今年の水泳の安全祈願をしました。その後、大きな喚声とともにプールに入り、水泳学習を行いました。

次の日は、梅雨の晴れ間に恵まれ、3年生・5年生がプール開きを行いました。

今年のプールが安全に行われ、少しでも水泳の技量がアップすることを願っています。



【プール開き：ルールの説明と安全祈願】

【入水準備のバタ足】

【蹴伸びもスムーズ】

東小は、読書に力を入れています！

ICTの効果的活用とともに重点的な取組みの一つに「読書」があります。「致知」という雑誌の7月号に数学者の藤原正彦氏のインタビューが載っていました。題が「国語を忘れた民族は滅びる」何とショッキングな題でしょうか！数学者の藤原氏は長年、日本の国語教育のあり方に警鐘を鳴らし続けています。

読書力の低下で、文学や詩歌など美しい国語に触れない日本人が増え、同時に人間としての大切な情緒が失われつつある現状もその一つであると言われています。

そうなった背景は何なのか？失われた日本語をこれからどのように取り戻していけばいいのか？大局的な視点から述べられていました。

○「学科で言えば、一に国語、二に国語、三、四がなくて五に算数 オーケストラにおいてバイオリンはバイオリンのように鳴って初めて認められるように、日本人は日本人のように考え、行動してこそ世界で本当の価値を発揮できるのです。」

○「小学校の国語において、比重は読みが二十、書くが五、話すと聞くはそれぞれ一です。

初等教育の目的は、子供たちが自ら本に手を伸ばすように育てること、それだけです。」
国語にこだわるのは、すべての人間にとって、国語が知的活動の基礎だからだそうです。語彙が少ないと思考は深まらない！その語彙力を高めるのは読書しかないということです。私もそう考えます。読書と人間力と学力は相関関係があると強く思います。

【東小読書の目標】 低学年～100冊 中学年～80冊 高学年～60冊



【図書サポの本の説明】

7月の行事予定について

◇7月 4日（月） マネジメント学校訪問

◇7月 6日（水） プール清掃5年

◇7月15日（金） 国際交流3年（未定）

◇7月22日（金） 1学期終業式

◇7月 5日（火） クラブ活動

◇7月 7日（木） 期末整理週間～13日（水）

◇7月20日（水） 結団式

◇7月25日（月） 個人面談～29日（金）

